

## 分科会9 尊厳ある暮らしの保障を

◎誰もが安心して暮らせる高齢者の生活を実現しよう

7月27日(日) 9時30分から 相模原市民会館第2小会議室

全国から  
声を上げよう!

命の切り捨て  
許さない!

介護崩壊を  
止めよう!

介護保険がスタートしてから25年、たび重なる法改正や報酬改定により介護保険が事業者や利用者には大きな負担を強いるものになっています。2024年、介護事業所の倒産・休廃業は過去最多の784件、うち7割を占めるのが訪問介護です。昨年度の訪問ヘルパーの報酬切り下げで多くの事業所が「事業継続が難しい」「利用者にとっても生活に影響する大きな問題」と国に訴える声があがっています。介護人材確保に直面する厚労省も責任を問われています。

「事業者がいなければ介護サービスは届かない」と、減収になった訪問事業所に給付金を出す、介護職員の住宅補助支援、経営事業者を支える助成事業など独自の支援策を始めた自治体があります。公的な支援が全国に広がって欲しいと切望します。

平和と民主主義をめざす全国交歓会、尊厳ある暮らしを連絡会では、厚労省宛の「介護報酬引き下げ撤回、介護職員の給与の引き上げを求める署名」を6月から全国に発信し署名活動を始めています。介護崩壊を止めていくために何ができるか、厚労省交渉の報告、現場の実態、各地の取り組みを共有する2025ZENKO in相模原の介護分科会の参加を呼びかけます。

介護に関わるすべての人が一番に尊重される保険制度の充実に向け、みなさん声を上げましょう!

～プログラム～

- ・厚労省交渉報告
- ・基調
- ・現場からの報告
- ・家族からの声

ZOOM参加可能

オンライン署名 昨年8月訪問介護報酬引下げ、介護事業所の約6割が減収

訪問介護報酬の引き下げを撤回し、  
国の責任で介護職員の給与の  
大幅引き上げを求める署名



7月25日、厚労省へ提出&交渉!

